



## 第2回景観づくり勉強会

2020年1月24日（金）18:30~20:45

道の駅たけはら2階 地域交流スペース

## 第2回テーマ

『竹原市の景観づくりの“将来”を考えよう』

## 第2回景観づくり勉強会を開催しました！

竹原市景観計画の策定と魅力ある景観づくりを行うため、市民のみなさまと行政と一緒に景観について、学び・考え・取り組む「第2回景観づくり勉強会」を開催しました。

勉強会には、市内・市外から19名の方が参加され、『竹原市の景観づくりの“将来”を考えよう』をテーマに将来のまちのイメージを話し合いました。



## ■当日のプログラム■

|        |   |
|--------|---|
| 18:30~ | 開会  |
| 18:35  | 竹原市の景観づくりの方向性について                         |
| 18:35~ | 【全体ワーク】                                   |
| 19:10  | 重点地区について意見交換                              |
| 19:10~ | 【グループワーク】                                 |
| 20:40  | 良い景観に必要なもの・不要なものを考えて、将来に残したい景観のイメージを作成・発表 |
| 20:40~ | 今後の予定、閉会                                  |
| 20:45  |   |

はじめに、市担当者が「竹原市の景観づくりの方向性」について、景観特徴による景観づくりの地域分け、重点的に景観づくりに取り組む地区（重点地区）の選定方法・注意点と他市の事例、重点地区と重点地区以外の景観形成の方針について説明しました。

その後、重点地区の候補地として“町並み保存地区周辺”“竹原駅前周辺及び国道432号沿道”“忠海市街地周辺”の3地区について全体ワークで意見を伺い、「日の丸写真館前の雁木と常夜灯は歴史があり守っていききたい」、「街路樹で竹を植えているのは竹原だけ。よそにない景観づくりをして欲しい」などのご意見をいただきました。

グループワークでは、3つの班に分かれ、良い景観に必要なもの・不要なもの等を実際の写真に書き込み、将来に残したい竹原市の景観イメージをつくりました。（結果は裏面）

## ●景観づくりの地域分け

市全域に魅力的な資源・景観があることから、**竹原市全域で景観づくりを進めます**。景観づくりの方向性は、**同じ景観の特徴をもつ地域（ゾーン）**ごとで定めます。  
（まちなか、住宅地、田園集落、多島美、山なみの5つのゾーン）

## ●重点地区

特に**竹原らしい景観**を有し、将来にわたって景観を保全すべき地区として、**より細かな景観形成の基準**（建築物や工作物の色・高さの規制等）を定めます。

【選定方法】市民意向や現況整理  
竹原市の他の計画との整合  
景観や地域づくりの活動があるか

総合的に判断

## ●重点地区以外

地域のもつ景観特徴を踏まえ、**良好な景観形成に向けた方針やルール**（太陽光パネルの設置ルール等）を示します。



竹原市の景観づくりの方向性

グループワークの様子

## グループワークの結果～将来のまちのイメージ～〈主な意見〉

### 町並み保存地区周辺グループ



### 竹原駅・国道432号周辺グループ



### 忠海市街地周辺グループ



### 第3回勉強会の予定

次回勉強会は、令和2年4～5月頃に『竹原市の魅力ある景観を共有しよう』をテーマに開催予定です。詳しい内容が決まりましたら広報誌、市ホームページ等でご案内します。

問い合わせ：竹原市役所 建設部 都市整備課

TEL:0846-22-7749 FAX:0846-22-8579 E-Mail:toshi@city.takehara.lg.jp